

平成30年度 富士見町当初予算

～住み続けたいまち・住んでみたいまちづくり～

一般会計 73億9,900万円

平成30年度は、住み続けたい・住んでみたいまちづくりを実現するため、「地域力の再発掘と発信に向けて」を目標とした予算編成としました。

今年の予算は、 どのくらい？

下の図は、一般会計予算額の歳入歳出の内訳です。平成30年度当初予算額は、73億9,900万円（前年度比4億6,144万円増）となり、過去10年間で一番大きな予算規模となります。

歳入のうち、もっとも大きな割合を占めている「町税」については、景気回復基調を背景に、個人住民税の増額と、企業の設備投資による固定資産税の増額を見込んでいます。法人住民税は企業動向から減額を見込んでいますが、町税全体としては、前年度比0.4%、846万円増の23億6,143万円となっています。さらに、今年度も「ふるさとみらい寄附金」1億円を目標として当初予算に計上しています。

歳入の中で、財政健全化を示す自主財源の割合は2.4%増の51.1%となります。

富士見町 第5次総合計画

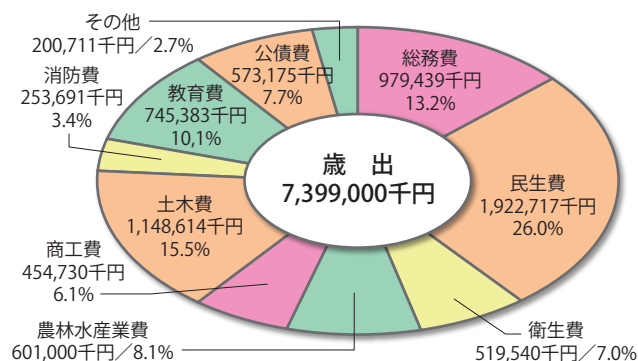
- ① 人口の維持
- ② 健全財政の維持
- ③ 健康・福祉のまちづくり
- ④ 安心安全のまちづくり
- ⑤ 農業の復活
- ⑥ 観光強化
- ⑦ 教育のまち富士見・子育てのまち富士見
- ⑧ 安定した行政運営

歳出については、第5次総合計画の前期最終年として総括し、後期計画策定に向けた始動の予算として、土地利用計画の見直し、産業振興の強化のための人材育成、公共施設等総合管理計画個別施設計画の策定、コミュニティ・プラザ空調等改修、庁内プロジェクト体制の構築推進、シティプロモーション等を重点施策として取り組みます。

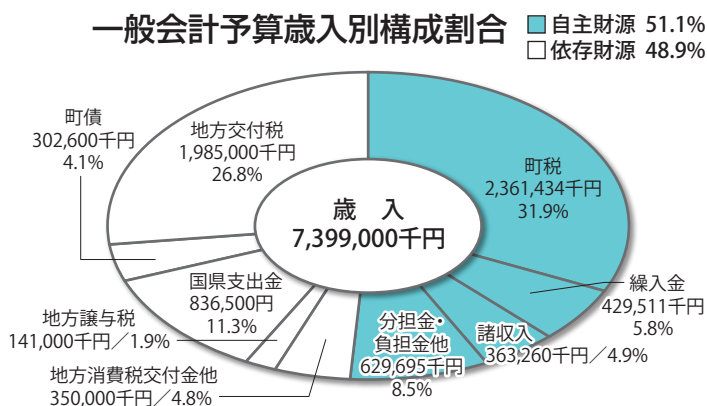
そのほか、健康・福祉のまちづくりや安心安全のまちづくり、農業の強化、観光強化、教育のまち富士見・子育てのまち富士見についても引き続き取り組みを行っていきます。

また、今年度は都市計画道路整備のため、富士見駅北通り線（未整備区間）の整備と役場通り線の拡幅のため、3億1,663万円を計上しており、全額財政調整基金を活用して事業を進めていきます。

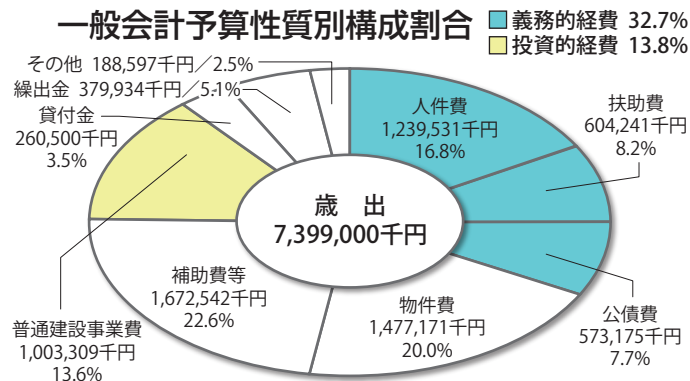
一般会計予算目的別構成割合



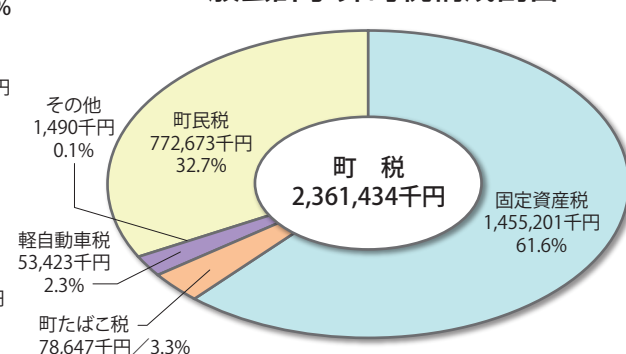
一般会計予算歳入別構成割合



一般会計予算性質別構成割合



一般会計予算町税構成割合



※国や県からの補助金などを「依存財源」といい、これに対して町税などの町が自ら収入するものを「自主財源」といいますが、収入全体に占める自主財源の割合が高いほど健全な財政といえます。

一般会計当初予算 性質別前年度対比表

(単位:百万円)

区 分	H30	H29	増減
人 件 費	1,240	1,282	△42
物 件 費	1,477	1,425	52
維 持 補 修 費	51	46	5
扶 助 費	604	552	52
補 助 費 等	1,673	1,767	△94
一部事務組合	579	590	△11
そ の 他	1,094	1,177	△83
普 通 建 設 事 業 費	1,003	492	511
補 助 事 業 費	84	97	△13
単 独 事 業 費	919	395	524
災 害 復 旧 事 業 費	0	0	0
公 債 費	573	599	△26
積 立 金	132	130	2
貸 付 金	261	261	0
繰 出 金	380	379	1
予 備 費	5	5	0
合 計	7,399	6,938	461

町の支出、 性質別経費とは？

町の支出（歳出）を性質に着目して分類したもので、「人件費」や「扶助費」「補助費」「普通建設事業費」などに分けられます。左の表は性質別経費を前年度と比較したものです。

特に予算全体における構成比の大きなものとして、人件費は職員・議員・委員等の給料や共済費などで、全体の16.8%、物件費は賃金や旅費、委託料・備品購入費などで、

全体の20.0%、扶助費は福祉医療費や児童手当などで、全体の8.2%、補助費等は、国や他団体、一部事務組合に対する負担金などで、全体の22.6%、普通建設事業費は、建設工事に係わるもので、全体の13.6%、公債費は、借入金の返済に係る元金及び利子で、全体の7.7%となっています。この性質別予算のうち、人件費、扶助費、公債費は「義務的経費」、普通建設事業費は「投資的経費」と分類されます。

平成30年度の主な取り組み

★重点施策

○土地利用の見直し …… 975万円

社会情勢の大きな変化により、今後の土地利用の在り方を定めるため、新たに「第2次国土利用計画」を策定します。また、平成14年度に策定した「都市計画マスタープラン」を見直し、一体的な運用を図るために「立地適正化計画」の策定、さらに農業振興地域整備計画の見直しを2か年で実施していきます。

○健全財政の維持 …… 1,274万円

平成28年度に策定した「富士見町公共施設等総合管理計画」に基づき、平成32年度までに「個別施設計画」を策定し、今後の公共施設や行政サービスの在り方の研究、施設の長寿命化や統廃合等を検討します。インフラ施設（農業用水路等）と学校施設の長寿命化計画も併せて策定に取り組みます。

○コミュニティ・プラザ空調更新、照明LED化工事

…………… 1億2,912万円

多くのグループや団体、子どもたちが利用するコミュニティ・プラザを、利用者の皆さんがより快適に利用できるよう、空調の更新と照明のLED化工事を行います。

○人材の確保・雇用の創出 …… 215万円

町に設置している無料職業紹介所の機能を強化するため、企業訪問等を積極的に行い、企業と就業者のマッチングを図ります。また、富士見森のオフィスは、町の産業の拠点としてさらに機能を充実させるため、隣接する管理棟の改修工事に向けて設計委託を行います。

○都市計画道路整備事業 …… 3億1,663万円

富士見駅北通り線の未整備区間は、歩道を確保し、歩行者が安心して利用できるとともに、町の発展を後押しする道路となるよう、暮らしに密着した道路整備に努めます。また、長野県と共に役場通り線の建設を推進します。

○特記施策 …… 158万円

多岐にわたる業務に柔軟に対応するため、庁内に横断的なプロジェクト体制を整えます。また、人口対策の中で、移住・定住志向者向けに情報発信を充実させるとともに、町の強み、魅力の再発掘と積極的な発信のためにシティプロモーションの取り組みを始めます。

平成30年度 特別会計・企業会計予算

会 計 名	H30予算額	前年比較
国 民 健 康 保 険	14億8,178万円	△2億9,157万円
後 期 高 齢 者 医 療	2億1,078万円	2,922万円
観光施設貸付事業	1億4,593万円	0
富 士 見 財 産 区	1,526万円	△65万円

会 計 名	H30予算額	前年比較
本郷・落合・境財産区	3億9,608万円	△1,172万円
乙 事 財 産 区	558万円	△101万円
水 道 事 業	9億4,393万円	2,045万円
下 水 道 事 業	17億9,051万円	7,943万円